

大家城跡(坂戸市)

ここは森戸神社



もりと 森戸の獅子舞 坂戸市指定無形民俗文化財

も 森戸には
国涓地祇神社
ししの舞



坂戸市文化かるた

秋になると豊年を祝う獅子舞が、市内の各地で行われます。竹で作った「ささら」と呼ばれる楽器を使って獅子舞を踊るので、「ささら舞」とも言われ、昔から地元の人々によって受継がれてきました。

森戸の獅子舞は、江戸時代に始まったと伝えられ、国涓地祇神社と周辺の神社のお祭りに舞われます。

獅子は悪霊払いの霊獣として崇められ、古来、祭りの主役として、獅子舞が全国各地で行われてきました。森戸の獅子舞は、江戸時代の安永六年（一七七七年）に始まったと伝わっていますが、記録などは残っていません。国涓地祇神社と周辺の神社へ、毎年十月十五日に奉納されます。



獅子舞の演者は雄獅子、雌獅子、中獅子の三頭で、これに山の神の天狗、軍配を振って舞いを盛り上げる配追い、花笠をかぶったささら子、これにほら貝、笛吹き、唄うたいが加わります。演目は「すり違い」、「竿がかり」、「花すい」、「秋葉社の舞」、「宮まいり」があります。

獅子舞の当日は、ほら貝の合図で社殿を一周する「宮まいり」から始まり、境内で「すり違い」を舞います。四日市場、森戸の秋葉社へ行列を組んで行き、それぞれの神社に舞を奉納します。神社への行き来の間、国涓地祇神社の境内にもどり、「竿がかり」を舞い、最後に神社境内で「花すい」を奉納して舞納めとなります。行列の先頭を行く万燈には、天下泰平、五穀豊穰、風雨順調、氏子繁昌との願いが記されています。

祭りの当日に立てられるのぼり旗の文字は、巖谷修（児童文学者巖谷小波の父）の書によるものです。

平成十九年三月

坂戸市教育委員会



大家城跡とされる



森戸神社拝殿



拝殿の左手が本殿覆屋



覆屋の中の本殿





さて、大家城の土墨跡を見てみよう/この辺りは本曲輪跡といわれる



これが土塁跡か



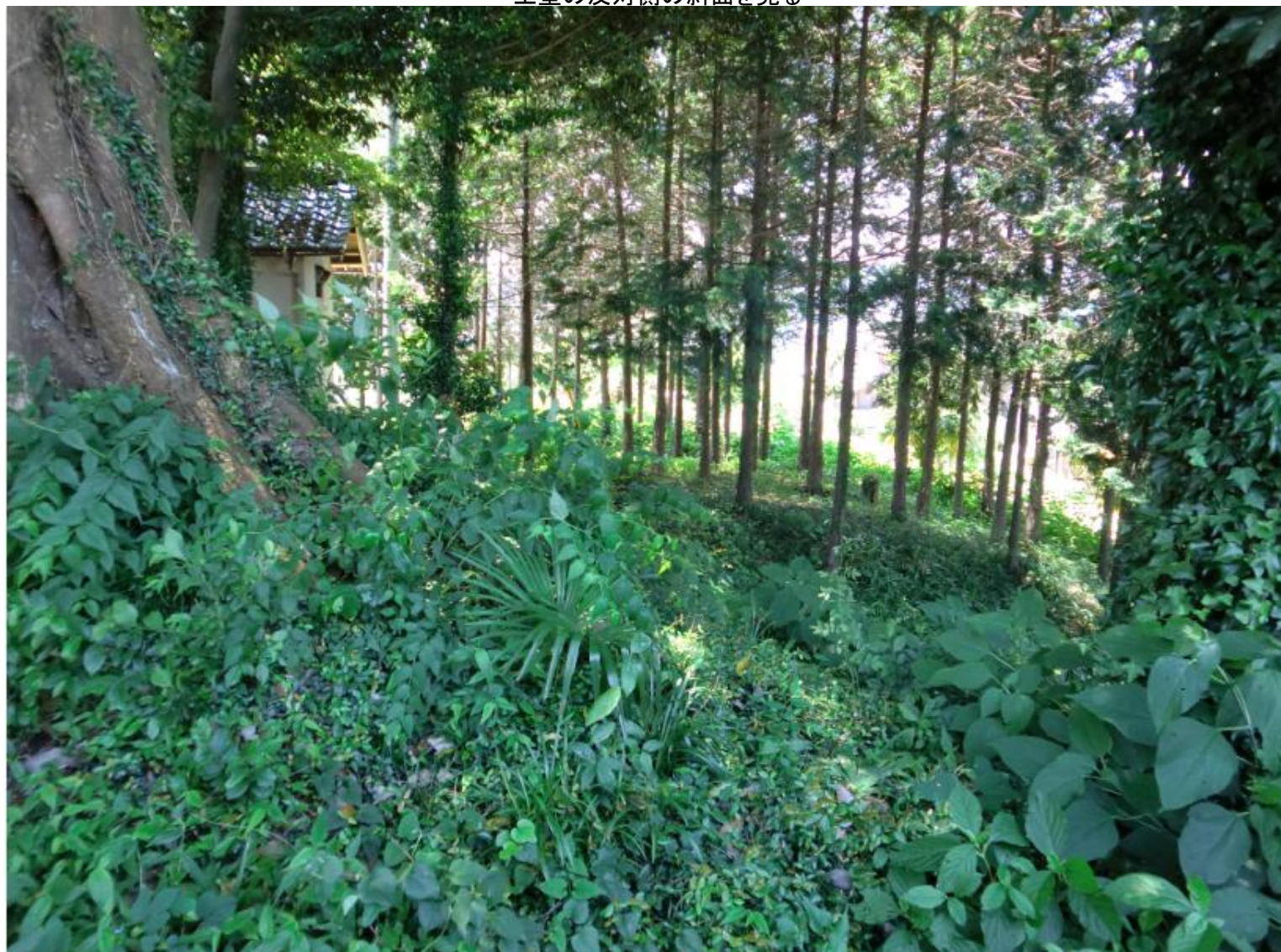
土塁上にある祠







土塁の反対側の斜面を見る



斜面の下には堀跡があるという



振り返って土塁を見る





斜面を見る



この左手の民家の庭に板碑があった







境内に戻る



お約束の転用材置き場



境内社の八幡神社



境内社の秋葉神社



こんな石造物もあった



御神木



西側(ここが正面のようだ)の鳥居/標柱に国謂地祇神社とあるが森戸神社のこと



境内を出て先程の斜面を下から見てみる





これが斜面下の掘跡か





参考ホームページ

<http://www.geocities.jp/tsukavan0112/subdir-siropage/ohvaiou.html>

<http://www.mikumano.net/zsaitama/sakado1.html>

http://homepage1.nifty.com/05170517/zenkoku/saitama/1075_moritayashiki_1.htm

